

製品名: GPR40 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11683**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	FFAR1
別名	FFAR1; GPR40; Free fatty acid receptor 1; G-protein coupled receptor 40
遺伝子 ID	2864.0
SwissProt ID	O14842
免疫原	抗血清はヒト FFAR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 185-234

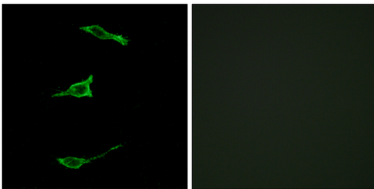
背景

この遺伝子は、19 番染色体上にクラスターを形成する G タンパク質共役受容体 GP40 ファミリーのメンバーをコードしています。コードされるタンパク質は中鎖および長鎖遊離脂肪酸の受容体であり、インスリン分泌の代謝調節に関与している可能性があります。

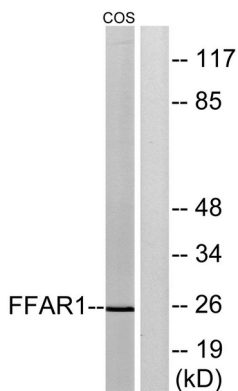
す。この遺伝子の多型は2型糖尿病と関連している可能性があります。[RefSeq提供、2009年4月]機能：中鎖および長鎖飽和および不飽和脂肪酸の受容体。リガンドの結合により細胞内カルシウム濃度が上昇し、グルコース刺激によるインスリン分泌が増強されます。この受容体の活性は、ホスホリパーゼCを活性化するGタンパク質によって媒介されます。G(q)およびG(i)を介した経路を介して作用すると考えられます。類似性：Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。組織特異性：膵β細胞に豊富に発現しています。

研究分野

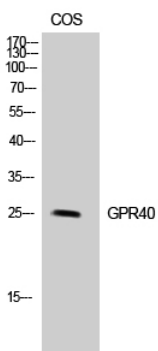
画像データ



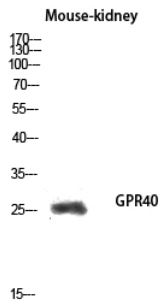
FFAR1抗体を用いたLOVO細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



フォルスコリン 40nM、30µLで処理したCOS7細胞のライセートをFFAR1抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



GPR40ポリクローナル抗体(1:500希釈)を用いたCOS-7細胞のウェスタンブロット解析



GPR40 抗体を用いたマウス腎臓溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。